

# つくばセンター・天久保におけるモバイル決済の普及状況

張 詩遥 (地球科学専攻)

## 1. 目的

近年、モバイル決済が非常に人気を集めて、モバイル決済サービスを導入している店が多くなってきた。本研究では、つくば市の飲食店やコンビニなどを対象として、モバイル決済の普及状況および特徴を明らかにする。

## 2. 対象地域

つくば市中心部と天久保地区の2つの地域を対象とした。つくばセンターの調査範囲はつくば駅から半径1.2 km以内の地域である。

## 3. 研究手法

まず、Survey123 を用いてモバイル決済サービスを導入している店の位置情報を記録した。そして、モバイル決済の種類、利用状況などの情報について聞き取り調査を行った。次に、ArcGIS を利用して結果を可視化し、2つの地域を対照して分析を行った。

## 4. 考察

調査地域内におけるモバイル決済を導

入している店は全部 26 個である。その中で、つくばセンターに 19 個があり、天久保地区に 7 個がある。導入している店の特徴はチェーン店に多いことである。ただし、つくばセンターに外国人の観光客が多いこともあるので、個人経営の店も導入していると思われる。天久保地区には、導入している店はほぼコンビニであった。居酒屋や料理店などがたくさん分布しているが、小規模で個人経営の店が多いので、導入している店は少なかった。決済の種類について、表 1 に示すように、一番多いのは Line Pay であった。PayPay は最近公開されたが、他の決済方法と違い、導入している店は個人経営のほうが多い。これから、利用が増えると思われる。

Pay Pay	Alipay	Wechat Pay	Line Pay	Rakuten Pay
16	17	15	20	18

表 1. 各決済種類の店舗数



図 1. つくばセンターの店舗分布



図 2. 天久保地区の店舗分布